

模範愛育班の指定

愛育班を普及し、その活動を充実させるため、次の条件により模範的な愛育班を「模範愛育班」として指定し、見学実習の場とします。

1. 愛育班組織が確立し、その活動が他の模範となるものであること。
2. 愛育班活動の見学実習地として、本会が行う研修会の研修生又は他市町村の愛育班関係者を受け入れることができること。

令和3年度は、東京オリンピック・パラリンピックの開催にともない、宿泊施設の確保困難のため、愛育班長研修会・愛育班等組織育成者研修会は行いませんでした。そのため、模範愛育班の指定を見送ります。

「愛育班員の手記」入選作一覧

優秀作

県名	氏名	所属	タイトル
長崎県	<small>たかいら つたえ</small> 高以良 蔦枝	<small>かわたなちよう</small> 川棚町西部地区母子愛育班	「愛育のこころの灯り」を絶やさずに

佳作

県名	氏名	所属	タイトル
埼玉県	<small>かがわ じゅんこ</small> 香川 順子	ふじみ野市母子愛育会	ようこそ、宝物さん。 一緒に未来へ！
山梨県	<small>かたむら とくこ</small> 形村 徳子	<small>ほくとし</small> 北杜市母子愛育会長坂町愛育班	こころをつなぐ愛育班
岡山県	<small>ながはた まさこ</small> 長畑 昌子	岡山市愛育委員協議会	AIロボット時代の ai（愛育）活動

手記 優秀作

「愛育のこころの灯り」を絶やさずに

長崎県 川棚町西部地区母子愛育班
高以良 蔦枝



今から8年前、ご近所の班員さんからお誘いを受け、愛育班の仲間に入りました。

活動を通じて、何年も会っていなかった懐かしい友人に再会したり、新しい出会いがあったりと班員研修会やわんぱくランドに参加する度に、毎回色々な感動と勉強をさせてもらっています。地区の行事のお手伝いという形での協力をはじめ、高齢者の方や「歯ブラシ配布」の折の若いお母さんへの声かけ、食生活改善推進員の方と一緒にいきいきサロンでの食事作りやおやつ作りなど、地域にとって潤滑油のような働きが出来たらと願いながら活動しております。

そんな中、飛び込んできた「長崎県内の愛育班は川棚町だけになりました」のニュースには、「えー！」と本当に驚きました。

昭和50年35人の班員さんから始まった活動が、それから45年もの長きにわたって続いてきたのも、熱心に取り組んでこられた先輩方の献身的なご努力の賜物であり、その地道な活動によって愛育班というものが徐々に認識され、今や川棚町にとってなくてはならない存在になっていることを強く感じます。それだけに、県内でただ1箇所になってはしまいましたが、川棚町愛育班の灯りを決して絶やさないう、これからも班員一人ひとりが「愛育のこころ」を大切に育てながら活動を続けていければと思います。

子供たちをめぐる悲しい事件のニュースを目にする度に、どうにかして助けることが出来なかったのかと胸が張り裂けるような思いがしてなりません。そんな悲しい出来事を無くすためにも、命の大切さを伝えていく愛育班の存在が大きな役割を果たすのではないのでしょうか。

一人の力は小さくても繋がりを広げて大きな力になれるよう、これからも力を尽くしていきたいと思っています。

手記 佳作

ようこそ、宝物さん。一緒に未来へ！

埼玉県 ふじみ野市母子愛育会
香川 順子



私は、今年の夏から素敵な御縁で母子愛育会のメンバーになりました。幸か不幸か、私達夫婦は子供を授かる事はありませんでした。しかし、夫の「縁する子供達を我が子と思って愛情を注いでいこう！」との意見に大賛成！私も折に触れてそんな「想い」で接してきました。

母子愛育会の活動は、とても活発に行われていました。イベントのお土産作り、研修、支部毎の打ち合わせや練習、作品作り、子供達の健診サポート等、意欲的に取り組んでいて沢山の刺激を受けました。イベントには私も不慣れながらスタッフとして参加し、楽しい時間を持つ事が出来ました。何よりも子供達の純真な愛らしい輝く笑顔は最高の贈物でした。式次第も「紙芝居」「手遊び」「絵本」「体操」「パネルシアター」等、工夫をこらし、皆で盛り上げました。最初は緊張していた子供達やママ達も次第に笑顔が広がり、楽しそうに一緒に参加してくれました。更に、保健師さんの話に、ママ達は「納得」と「共感」が…。日頃の育児の悩みを解決する糸口になったのではないかと思います。

最後のティータイムは、和気あいあいで笑顔が溢れ、この様な交流の場を持てた事がとても有意義だったと実感しました。最後にメンバーでアーチを作り、子供達とママ達が通りぬけてお別れをする時は、皆が、笑顔、笑顔で私も爽やかな感動に包まれました。

私は、子供達は社会の未来の宝物だと思います。一人残らずかけがえのない尊い存在だと信じています。そのかけがえのない我が子を、若いお母さん達が手さぐりで試行錯誤を繰り返しながら、一生懸命育児に奮闘している姿を観ると、これは周囲の大人達が皆でサポートしていかななくてはいけない、そして、子供達もお母さん達も安心して暮らせる、又育児の出来る環境が必要である事を実感しました。

母子愛育会の温かい交流は、その一つを担っている事が分かり、私も微力ですが、皆さんと共に、更に活動をして参りたいと思いました。

手記 佳作

こころをつなぐ愛育班

山梨県 北杜市母子愛育会長坂町愛育班

形村 徳子



愛育班の活動に初めて参加することになりました。今まで、どのような活動をしてきたのかを分班長会議で学びました。町内の各分班の方々と出会い、今、自分たちがどんな活動により子育てをしている方々にお手伝いができるか、自分たちの子育て経験や地域の特性を踏まえて話し合っています。愛育班員になったことで、赤ちゃんの産まれたご家庭に声をかけやすくなったと言う声も耳にします。

愛育班では、出産されたご家庭を年間を通して訪問し、赤ちゃんプレゼントを班員が直接渡しに伺います。愛育班の活動内容を伝え、安心して育児ができるように声かけをします。初めての訪問を受け驚いた表情をされる方、楽しく参加できる行事があればもっと知りたいと興味を持って質問される方など様々です。そして、班員からの大切なひと言で安心される表情など、私たち愛育班員の会合の中で無くてはならない内容となりました。

話し合いの中で、離乳食作りが大変だと思っている方が多いことが出され、子育て支援事業のテーマを「大人の献立からできる離乳食」としました。お母さん方が少しでも楽しく子育てができるように、日々の生活に実際の場面で役に立つことを選んで実習してもらいました。気が付けば参加されたお母さん方はもちろん、私たち愛育班員の熱意や活気も凝集された場面となりました。

今までの「家族」を思う気持ちから、さらに広い視野を持って、地域の人々の思いを反映させていこうという「意識」が、私の心の中で強くなっていることは、確かです。

愛育は、一人ひとりの意識を高め周りに心を配る気持ちの大切さを感じさせてくれます。次にこれもしてみよう、これはどうやって解決していこうかと、夢中になって考えることが大事な活動に繋がっていくことを実感しています。

手記 佳作

AI ロボット時代の ai (愛育) 活動

岡山県 岡山市愛育委員協議会
長畑 昌子



「若いお母さんに『声かけ運動』をしていきます！」私は会長研修会で宣言をしました。きっかけは、地域研修会で「児童虐待」について学び、自分たち愛育委員に何ができるのかを考え話し合ったからでした。実母が加害者となる児童虐待の事件報道を聞くたびに、心はざわつき、切ない気持ちになります。要因として一番多いのは、相談する相手がおらず孤立していくことだそうです。相談する相手がいない。それならば、私たちがお母さんの相談相手になりたい。新たに愛育活動を始めなくても、子どもや母親に関わる活動、乳児を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」や育児相談、子育てサークルへの応援や協力など、普段の活動の中で取り組もうと考えました。愛育活動は保健所とつながっていますので、活動の中で「おや？心配だな」と感じたらすぐに保健師につなぐことができます。それにより虐待の芽を小さなうちに摘みとることができるかもしれません。

AIロボットが様々な知的能力を持つ時代となっても、人にしかできない「思いやる心・察する心」で声かけをして、お母さんの心の負担を少しでも軽くできるなら、地域が住みやすい場所になるなら、愛育委員としてこんなにうれしいことはありません。

活動の中でうれしい出来事がありました。仲良くなったお母さんが「来年から幼稚園なのに、まだお乳を欲しがるとポツリとつぶやきました。困っているのは分かりましたが、「子どもの気持ちはどうかな？きっと、お母さんの肌のぬくもりや鼓動で安心できているのでは」と私の思いを伝えました。するとお母さんの顔が、ぱっと明るく優しい安堵の表情に変わったのです。これからも自分の住んでいる地域が、安心して子どもを産み育てることができる地域であるように、声かけ活動を地道にコツコツと継続していきたいと思っています。